

侍の湯 きのこ屋

Samurainoyu Kinokoya
(岩手県久慈市)



外観

今回紹介する風呂は侍の湯 きのこ屋。日帰り入浴も可能な宿泊施設である。

久慈市と言えば、NHKの朝の連続テレビ小説「あまちゃん」のロケ地になった場所である。地名の侍浜の由来は、南部藩の武士たちが入植して開拓したからという説が有力だという。また、きのこ屋の屋号の由来は、この宿泊施設が地元のきのこ生産会社によって運営されているからである。もちろん、この会社の生産したしいたけは売店で大変良心的な価格で購入可能であり、レストランでも食することができる。シンプルだがしいたけのバター焼きはおすすめできる。ビールが進むおつまみになる。

風呂はフロントから1つ下の階にある。脱衣室には無料で利用できるロッカーがあるが、あまり数がない。ロッカーが利用できない場合は籠を利用する。貴重品はフロントに預けよう。

浴室は広々としている。洗い場は入口の両側にあり全部で13か所。シャンプー、リンス、ボディソープの3点セットが完備されている。カランの水圧は申し分ない。入口正面が浴槽であるが、かなり大きい。右側の小さい方が熱めの湯（湯温44℃）、左側の大きい方が適温（湯温43℃）だ。左側の浴槽の隅には電気風呂もある。電極が2か所あり、手摺も用意されているから、体を手摺で支えながら慎重に電極に近づいていくことができる。東京の銭湯ではあまりお目にかかれない親切な設備だ。江戸っ子は見栄っ張りだから手摺はない方がよいのであろう。

サウナは広く、3段の階段状になっており、室内温度92℃、定員12名だ。テレビも備わ

っており、長居が可能だ。私はサウナが苦手なので 30 秒で退散したが。

尚、侍の湯には露天風呂はない。湯はヘルストン温泉で、疲労回復、肩こり、神経痛、リウマチ、あせも、荒れ性、ひび、しもやけ、腰痛に効くという。株式会社ヘルストンによれば、ヘルストン温泉とは、麦飯石を粉末にして加工したヘルストンと呼ばれる成分を使用した人工温泉である。ヘルストンは麦飯石由来で唯一医薬部外品であるという。麦飯石とは「起源は漢方薬にあり、花岡斑岩あるいは石英斑岩という鉱石のうち、外観が淡黄褐色や淡灰色の石基中に白色または淡黄色の結晶が多数点在（斑晶）し、無毒・多孔質で吸着力やミネラル溶出性にすぐれたものを指」すという。何やら難しい。

ロビーや客室の外からの海岸線の眺望は格別である。特に朝焼けが美しい。ぜひ宿泊して入浴を楽しむべきであろう。宿泊者はチェックインからチェックアウトまで 24 時間入浴可能である。

- **名称**：侍の湯 きのご屋
- **所在地**：岩手県久慈市侍浜町向町第 7 地割 133 番地 5
- **電話**：0194-58-2311
- **営業時間**：日帰り入浴は 9：00～21：00。宿泊者は 24 時間入浴可能。但し、サウナは 23:00～9:00 の間は利用不可。
- **定休日**：無休
- **入浴料**：大人（中学生以上）500 円、小人（小学生）250 円、未就学児：無料、その他 2 名以上で割引あり、宿泊者は無料
- **サウナ**：あり
- **サウナ内のテレビ**：あり
- **取材日**：2015 年 6 月 25 日（木）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部